

「愛知の新たまねぎの日」に合わせて

『へきなんサラダたまねぎ』PRイベントを開きます！

【4月6日（日）／碧南市農業活性化センターあおいパークで】

JAあいち中央碧南玉葱部会（部会長：小澤利英）は、4月10日の「愛知の新たまねぎの日」に合わせて、6日（日）に碧南市農業活性化センターあおいパークで、特産タマネギ「へきなんサラダたまねぎ」のPRイベントを開きます。

部会では、3月中旬から4月下旬の期間限定で、極早生タマネギの中から辛みの少ない品種を選び「へきなんサラダたまねぎ」のブランド名で出荷しています。柔らかくてみずみずしく、水にさらさなくても生で食べられるのが特長で、消費者からも人気を集めています。

4月10日は、「41（良い）」「0（タマネギ）」と読む語呂合わせと、愛知県の新タマネギの出荷が最盛期を迎えることから、JAあいち経済連が日本記念日協会に登録しました。

「愛知の新たまねぎの日」PRイベント概要

- 日時：2025年4月6日（日）／午前9時～正午
- 場所：碧南市農業活性化センターあおいパーク
（碧南市江口町3-15-3）芝生広場
※雨天の場合は施設内で行います。
- 内容：特設ブースを設け「へきなんサラダたまねぎ」の詰め放題（1回300円／無くなりしだい終了）などを行います。

（タイムスケジュール）

- 午前9時00分～ オープニングセレモニー
（碧南玉葱部会長、JAあいち中央組合長あいさつ（予定））
- 午前9時10分～ 「へきなんサラダたまねぎ」詰め放題



イベントの様子
（タマネギ詰め放題）

碧南市のタマネギ栽培概況（JAあいち中央碧南玉葱部会）

- 部会員：131人（内、「へきなんサラダたまねぎ」生産者は約7割）
- 栽培面積：90ha（内、「へきなんサラダたまねぎ」は約28ha）
- 出荷時期：「へきなんサラダたまねぎ」は4月下旬まで。早生、中晩生タマネギは6月下旬まで出荷。
- 総出荷量：約6,500t（内、「へきなんサラダたまねぎ」は約1,500t。1箱10.6kgで出荷）の見込み。
- 流通先：中京・北陸・甲信越・東北市場（「へきなんサラダたまねぎ」は中京市場を中心に北陸・東北地方）を通じ、大手量販店で販売。JAあいち中央の産直店舗や農産物ネット販売サイト「碧海そだち～オンラインショップ～」でも取り扱っています。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

JAあいち中央総合企画部企画課広報強化対策室（担当：山村、杉浦、細井）

TEL:0566-73-5504／携帯:080-3667-3853／E-mail:kouhou@jaac.or.jp